

連載 あるといい「防除の知恵袋」(4)

—生産者の視点で「いつ・何を・どれだけ」—

JA 全農 営農販売企画部 TAC 推進課 課長

宗 和弘(そう かずひろ)

はじめに

前回は、施設栽培が中心のトマトを題材にし、水稻に比べて面談内容が多岐に渡っていること、年間を通じて発生する病害虫が変化する園芸作物の場合は、求められる情報がより細くなることを示した。今回は、園芸作物の中でも露地野菜を題材に検討を進めてみたい。

I 作物別面談数

平成 25 年 4 月～ 26 年 3 月の 1 年間における TAC の防除に関する面談記録のうち、作物が特定できるものを抽出すると 7,762 件で、そのうち葉菜が 1,796 件 (23%) をしめた。葉菜類の中では、キャベツが最も多く、1,005 件 (56%) と最も多かった(図-1)。次点ハクサイが続くなどアブラナ科野菜の比率が高いことから、今回はキャベツを題材にすることとした。

II キャベツにおける時期別防除関連面談の傾向

1 月別防除関連面談件数

キャベツでは年間を通じて防除に関連する面談があり、夏場と秋口に山がある分布となった(図-2)。この面談内容のうち病害虫の区別が明確な面談 212 件を仕分

けてみると、虫害が 119 件(54%)、病害が 103 件(46%) となり、若干虫害のほうが多かった(図-3)。

2 病害虫別防除関連面談の傾向

対象が明らかとなっている面談を病害虫別に仕分けてみると、虫害では、ヨトウガがトップで 23%、次いでアオムシが 20%、以下ハイマダラノメイガ(シンクイムシ)、ハスモンヨトウ、オオタバコガと続き、害虫名を特定できるものはすべてチョウ目害虫であった(図-4)。一方病害では、菌核病が 86% と大半をしめ、次いで黒腐病、根こぶ病と続いた(図-5)。

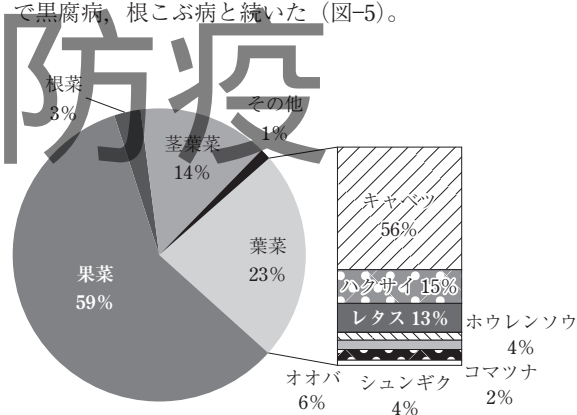


図-1 葉菜類の種類別面談数比率

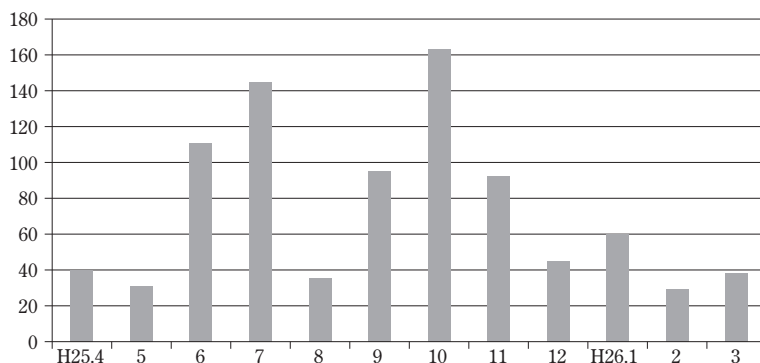


図-2 キャベツの月別防除関係面談件数